

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------|--------|----------------|
| 建物名称 | ティラド第三工場新築工事 | 階数 | 地上1F |
| 建設地 | 秦野市曾屋937-1ほか13筆 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業専用地域、防火指定なし | 平均居住人員 | 40人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2022年3月 予定 | 評価の実施日 | 2021年1月13日 |
| 敷地面積 | 7,260㎡ | 作成者 | (株)創和加藤設計 |
| 建築面積 | 6,003㎡ | 確認日 | 2021年1月13日 |
| 延床面積 | 5,769㎡ | 確認者 | (株)創和加藤設計 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0

| | | | |
|------|------|-------|------|
| N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 音環境 | 温熱環境 | 光・視環境 | 空気環境 |

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

| | | |
|------|-----|-----|
| N.A. | 3.0 | 3.4 |
| 機能性 | 耐用性 | 対応性 |

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

| | | |
|------|------|-----|
| 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| 生物環境 | まちなみ | 地域性 |

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 0.0

| | | | |
|-------|------|-------|------|
| N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 建物外皮の | 自然エネ | 設備システ | 効率的 |

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

| | | |
|-----|--------|------|
| 3.4 | 2.6 | 3.7 |
| 水資源 | 非再生材料の | 汚染物質 |

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

| | | |
|-------|------|------|
| N.A. | 2.7 | 2.7 |
| 地球温暖化 | 地域環境 | 周辺環境 |

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 | |
|--|--|--|
| 工場用途の建物のため隣地及び道路から極力距離を離し、建物高さを必要最低限の高さとする事で周辺環境に配慮した。 | 0 | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
| 0 | 空間にゆとりをもたせ、更新性に配慮した。 | 0 |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| 0 | 躯体と仕上げ材を容易に分解可能とすることで、資材の有効活用に配慮した。 自動水栓及び節水型便器を採用。 | 適切な照度及び照度範囲を設定し、屋外広告物照明は設置しないことで光害に配慮した。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される